高槻市民センター【3回シリーズ】 地域包括ケアに関するアンケート結果

参加者数：20名

回答者数：11名

回答率：55.0%

1. あなたの年代は？

①50代 (0名) ②60代 (0名) ③70代 (6名) ④80代 (5名) ⑤90代 (0名) ⑥その他 (0名)

2. 例えば足腰が立たなくなった時、だれに助けてほしいですか？（複数回答あり）

* できれば子供。その時期がいつになるのか今のところ不明なので、仕事をやめるような現実があれば、それなりの支援の相談をする

* 子供 2
 * 家族 3
 * つれあい
 * 主人
 * 女房
 * 娘 2
 * デイサービス

3. それは可能だと思いますか？

①はい (5名) ②いいえ (4名) 未回答 (2名) → 不明 1

4. ご家族以外の「近所の人たちと、困ったときはお互いに支え合う」ことについて、
なにかご意見があれば教えてください。

- * 近所が似たりよったりの年齢なので、いっしょにおとろえていく様子なので、たよれない感じ (70代)
- * 日頃からのお付き合いが必要かなと改めて思います。 (70代)
- * 出来るだけ近所の人々につき合っています。自作の野菜、果物を配ったりしています。 (80代)
- * 災害時に於ける避難チームを構成している。このチームは年に数回訓練をしている。このチームに困ったことへの対応を検討させると実施が期待される。 (70代)
- * ①日頃からの付き合いが、「困ったとき」の支え合いにつながる。
 ②今は近所との付き合いがなくなっている。昔は、子供が親を結びつけていたが、今は子供が居ない。
 ③今の時代は、無理してでも、近所の付き合いをする様各自が気をつけねばならないと思う。その活動を老人会・町内会・市民センターが進めていく事が大切です。 (70代)
- * ①日頃は挨拶するだけで困った時に話しかける事はしづらいし、相手に迷惑かけるから。
 ②ご近所で話す事が無い。
 ③車で移動する方が多いので会う機会が少ない。 (80代)